

第3回 大分県 先端技術研究会

大分県では先端技術挑戦課を中心として、2017年度からIoTやAI、遠隔操作ロボット等の先端技術を活用した地域課題の解決に向けたプロジェクトの推進に取り組んできました。一方、新規素材の開発など先端技術は加速的な発展を遂げています。そこで、大分県では、令和6年度より、AI(人工知能)、ロボティクス、次世代半導体、環境・エネルギー、新素材・バイオ分野の先端研究に取り組んでいる研究者や研究成果の社会実装に取り組んでいる先端技術を有する企業を講演者として招いて、最新の研究動向についてご講演いただく「先端技術研究会」を開催します。

大分県内の企業の皆様には、最新の研究動向をつかみ、将来の製品開発や改良、異分野連携による新規事業創出等に取り組むきっかけとしてご活用いただければ幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



参加申込み

<https://forms.gle/mWXTk2ZQgcMcAVJH8>

URLまたはQRコードからお申込ください

ナフサに頼らない バイオ化学品製造技術の紹介

BioPhenolicsは、フェノール等の芳香族化学品をバイオマスから微生物発酵によって生産する「バイオものづくり」に取り組むスタートアップである。本講演では、脱炭素化や化学品サプライチェーンの安定化に貢献するバイオ生産技術とその事業化について紹介する。特に、地域の未利用資源を原料として活用する可能性や、既存の化学・製造産業との連携に着目。大分県内企業が持つ原料、製造技術、設備、販路等との組み合わせを通じて、新たなバイオものづくり事業を大分から生み出す可能性について議論する。



BioPhenolics 株式会社 社長兼 CEO

貫井 憲之 氏

2004年に東北大学大学院農学研究科で博士(農学)を取得。日本大学での博士研究員を経て、バイオ系スタートアップに約10年間勤務。その後、MC フードスペシャリティーズ、日立化成などで研究・事業開発に携わる。大学・スタートアップ・大企業での経験を通じ、合成バイオ技術の社会実装にはスピードが重要と考え、2023年にBioPhenolics株式会社に共同創業、代表取締役就任。脱炭素社会の実現を目指し、パートナーとの連携による事業化を推進している。

第3回テーマ 環境・エネルギー

岡山大学 学術研究院医歯薬学域
病理学(免疫病理)研究 准教授

大原 利章 氏

2002年愛媛大学卒業。岡山大学医学部第一外科入局後、香川労災病院、岩国医療センター、岡山大学病院等で12年間外科医として勤務。2014年より岡山大学大学院病理学(免疫病理)助教、2024年より研究准教授。医学研究を進める中で木質圧搾技術の可能性に着目し、バイオマス研究を開始。2026年、リバネス岡山テックブラングランプリで中国銀行賞、フジワラテクノアート賞を受賞。同年、岡山工芸振興会科学技術賞を受賞。



「木を搾る」から考える地域バイオマス産業 ー 木質資源の新たな分離・利用技術

木や竹は、燃やすだけではもったいない資源である。地域に豊富に存在する木質・竹資源を、より高品質な燃料として活用するためには、含水率や灰分の低減が重要となる。演者は医学研究をきっかけに「木が搾れる」ことに着目し、短時間・低エネルギーで脱水・成分分離を行う新たな圧搾技術を開発してきた。本技術により、木質燃料の高品質化に加え、これまで燃料利用に課題のあった竹の活用可能性も広がる。FIT/FIP制度の変化により地域バイオマスが再評価される中、「搾る」を起点とした燃料利用と新たなカスケード利用の可能性を紹介する。

2026年

日時

10月2日(金)
14:00-16:40 (13:45開場)

会場

大分県産業科学技術センター 第2研修室
〒870-1117 大分県大分市高江西1-4361-10

問合せ先

開催趣旨などに関すること

大分県商工観光労働部 先端技術挑戦課

電話 097-506-2947

当日の申込み方法や当日の入場などに関すること

株式会社リバネス 地域開発事業部 [担当] 福田、岩田

電話 03-5227-4198

メール ld@lnest.jp

[主催] 大分県 [運営委託] 株式会社リバネス